

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

74号
2021
12.10

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中!

(植物園会館売店および各門にて)



← 京都府立植物園【公式】Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。



京都府立植物園【公式】YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。 →

第30回 ポインセチア展

- 期間: 12月1日(水)~12月25日(土)
- 場所: 観覧温室(特別展示室・ジャングル室)
- 内容: ポインセチア約100品種、700鉢を展示。
特別展示室では「クリスマス飾り」を展示!

東洋蘭講演相談会

- 日時: 12月12日(日) 13:30~15:30(受付13:00~)
- 場所: 植物園会館2階多目的室 ※定員: 先着60名
- 内容: 寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会
- 講師: 東洋蘭洛風会会員

第53回 野外彫刻展

- 期間: 12月4日(土)~12月19日(日)
- 場所: 園内各所
- 内容: 京都彫刻家協会員の作品約50点を展示

バラ剪定講習会

- 1月8日(土) 13:30~15:00(受付13:00~)
- 「ツルバラの剪定について」(講演と実演)
- ※場所: 植物園会館2階研修室・ばら園
- ※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)
- ※ばら園で実技があります。※定員: 先着60名

野外彫刻小品展

- 期間: 12月11日(土)~12月19日(日)
9:00~17:00(最終日16:00まで)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 室内での彫刻展示

第11回 新春を彩る

寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

- 期間: 1月10日(月祝)~1月30日(日)
- 会場: 北山門周辺 ~壁掛け型ハギングバスケット&寄せ植え!
- 【ハンギングバスケット体験教室】*会場にて
- 日程: 1/15(土)、16(日)、22(土)、23(日)、29(土)
- 時間: 10:00~14:00随時受付
- 材料費: 2,000円(別途入園料)

若手作家による希少植物作品展 ~あしもとにゆらぐvol.3~

- 期間: 12月18日(土)~12月26日(日)
10:00~16:00
- 場所: 植物園会館2階多目的室
- 内容: 若手作家による水彩画等、全国各地の希少植物が描かれた作品を展示

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!
毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内!
毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「園長と園内散歩」
12月19日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!
~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~
① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
③ ガイドは1時間程度。(無料)
* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141

スマホdeガイド

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」
2021. 12. 10
74号

⑫ セナリバナナ

バショウ科。ジャワ島やマレー半島で栽培。和名は果実が1,000個もなるということ由来。果実は食用には適さず、自生地でも家畜の飼料用にわずかながら栽培されているだけで、主として観賞用に植物園などで栽培展示されている。

⑪ サザンカ

ツバキ科。野生種は本州南西端の山口県、四国の西南部、九州北部から沖縄にかけて自生。野生種の花色は白だが、江戸時代以降に園芸種の作出が流行し、現在では多様な色、花卉数の品種が300以上ある。漢字では「山茶花」と書く。

⑩ ハナキリン

トウダイグサ科。マダガスカル原産。花は小さく、花びらに見える部分は苞。茎にはトゲがあり、イエス・キリストがかぶった「茨の冠」がこの植物だったとの伝説があることからキリスト・プラント(キリストの植物)という名前も付けられている。

⑨ ハボタン

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。ハボタンはその中のケールを観賞用に改良したもの。

① イチゴノキ

ツツジ科。地中海沿岸からアイルランドに分布。イチゴのような果実をつけることからこの名が付いた。アセビに似た白い壺形の小さな花を晩秋に咲かせる。果実は年を越し翌秋に、緑色から黄、オレンジ、赤へと変化し、晩秋に成熟する。

② ビオラ

スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

③ タイワンツバキ

ツバキ科。台湾、中国などに分布。一般的なツバキとは属が異なる。寒さにやや弱く、花は強い霜にあうと傷みやすい。花径7~10cm。白色の5~6弁花で、多数の黄色い雄しべが目立つ。葉の上半分に低い鋸歯がある。

④ サネカズラ

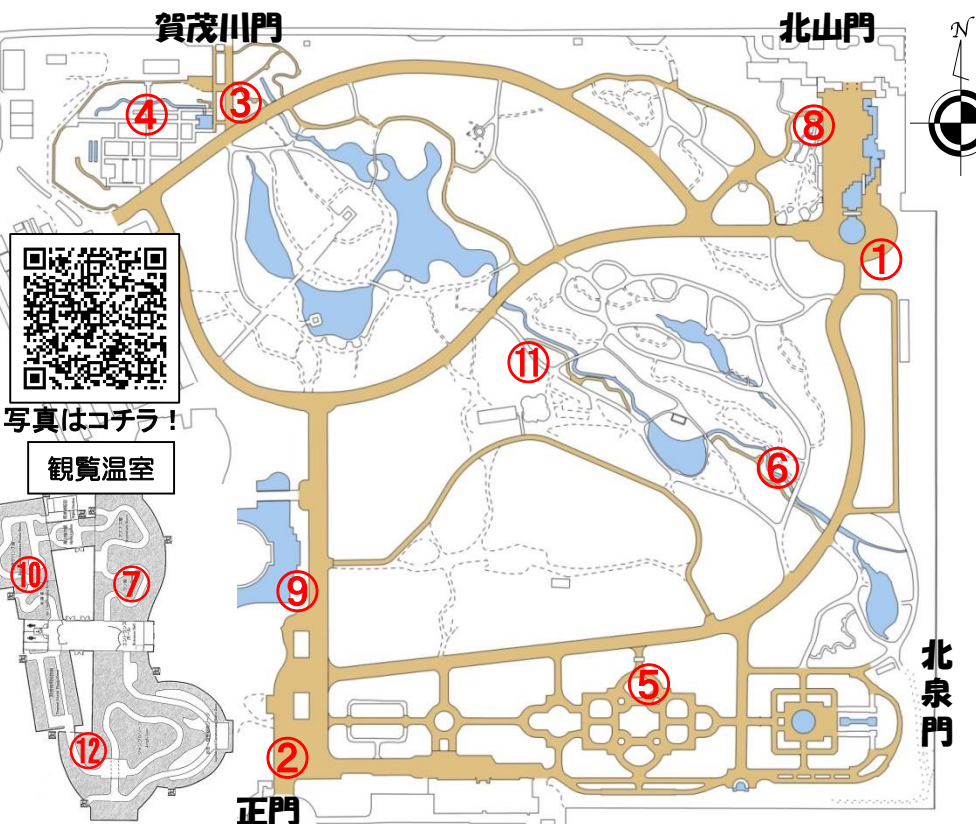
マツブサ科。関東以西の本州や四国、九州などの山野に分布。果実は光沢があり美しく、おいしそうに見えるが食用には向かない。昔、つるから出る粘液を整髪料として利用していたことから「美男葛(びなんかずら)」との別名もある。

⑤ バラ「伊豆の踊子」

バラ科。フランスのメイアン社で作出され、川端康成の小説「伊豆の踊子」の舞台となった静岡県河津町に贈られた品種。香りの良い黄色い花を咲かせる。黄色系では数少ない遅咲き品種である。海外では、カルト・ドールという流通名。

⑥ ツクバネ

ビャクダン科。日本の本州、四国、九州に分布。スギ、ヒノキ、モミなどの根に半寄生する植物。雌雄異株。雌花が熟すと羽根突きの羽根に似た実をつけることが名前の由来。4枚の羽根に見える部分は葉状の細長い苞である。



⑧ カエンキセウタ

シソ科。南アフリカ原産。属名のレオノティスは「ライオン」の意味で、花の先の形が由来となっており、英名もライオンズ・イヤーズ。また同様の理由でライオンズ・テール(ライオンの尾)とも呼ばれる。

⑦ キンカチャ(金花茶)

ツバキ科。中国南部からベトナム北部が原産。1948年に学術書に記載された新種で、ツバキ属では黄色の花が従来知られていなかった。新たな珍しい花色のツバキが存在するということが植物の世界で大きな話題になった。